

# 介護現場における生産性向上と取り組みの成果

## ～働きやすい職場づくりをめざして～

令和6年2月14日

社会福祉法人ライフ・タイム・福島 理事・事務局長

ロング・ライフ24時間訪問介護看護事業所 所長

**森 重勝**

## 自己紹介



**氏名 森 重勝（もり しげかつ）**

「社会福祉法人ライフ・タイム・福島」  
理事・事務局長。

福島銀行や関連会社を経て、2001年に同  
法人へ転職し、現在に至る。

一般社団法人 全国定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
協議会 理事長

NPO法人福島県認知症グループホーム協議会会長

全国グループホーム団体連合会 事務局長

福島県高齢者福祉施策推進会議委員 他

## 当法人の概要

福島市内に3拠点

伏拝地区  
グループホーム  
フクチャンち

吉倉地区  
地域包括ケア施設  
ライフ吉井田

松川町  
特別養護老人ホーム  
ロング・ライフ  
24時間訪問介護看護

ライフ・タイム・福島

f Instagram

平成3年設立

令和6年現在 15事業所を福島市南部地域で展開

# 1.働きやすい職場づくりについて

## (1) 幅広い年齢層の活用（東日本大震災からの学び）

- ①地域の人への研修会の開催
- ②サロンの365日オープン
- ③料理教室、オレンジカフェなどの開催

## (2) 業務改善委員会の発足

- ①業務改善新聞の発行（毎月発行・現在第77号）
- ②全職員のアンケート調査
- ③調査結果をオープン化
- ④法人としてできるものから改善

### (3) 業務の効率化と生産性の向上

- ①モデル事業への参加
- ②業務の見直し
- ③ICT・介護ロボットの活用と全事業所への横展開

### (4) 年2回 全職員への面接（2段階）

- ①管理者の面接
- ②施設長・事務局長の面接

**素敵なサンキューをありがとうございます！**

～感謝の気持ちを伝えてあげよう～

「目に見えなかったお礼のサンキュー」をご紹介します！

- 多岐さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長
- 宮内さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長
- 宮内さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長
- 多岐さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長
- 多岐さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長
- 多岐さんへ**：いつも優しいお声の返事がとても助かっています。 部長

皆様、いつもたくさんの方のサンキューカードの宛先、本書にありがとうございます。皆様から「ありがとうございます」という声、「仕事はなかなか大変だけれどもお礼を言われることはない」という声、色々な声があると思います。しかし、皆様はなかなかお礼を言えない人への声をお聞かせください。今まで見えなかったお礼の宛先に気づくことができるのがサンキューカードの良さではないかと考えます。人によっては「感謝され、認められること」は、お礼よりも重要な報酬です。ぜひ活用してみてくださいませう。

**2月 改善関係の図書**

1. [1] 改善関係の図書

2. [2] 改善関係の図書

3. [3] 改善関係の図書

**委員会からのお知らせ**

1. [1] 改善関係の図書

2. [2] 改善関係の図書

3. [3] 改善関係の図書

**改善関係の図書**

改善関係の図書

改善関係の図書



**業務改善新聞**

**2月**

発行年月日  
2024年2月1日

発行人：  
社会福祉法人  
ライフ・タイム・福島  
業務改善委員会



簡単な言葉でなくてもいい。でもそれは「できない」という理由にはならない。



2月4日生まれ 【ベア・ルース：アノ野郎選手】

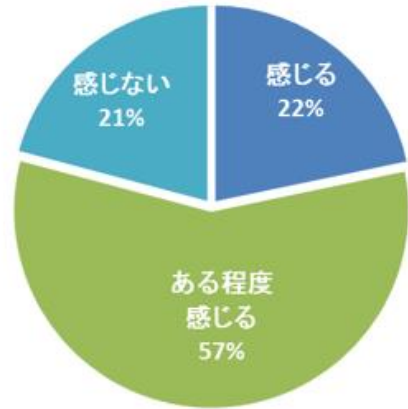
**社会福祉法人ライフ・タイム・福島は6Sを推進しています**

6Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「作法」「しつけ」の頭文字のS

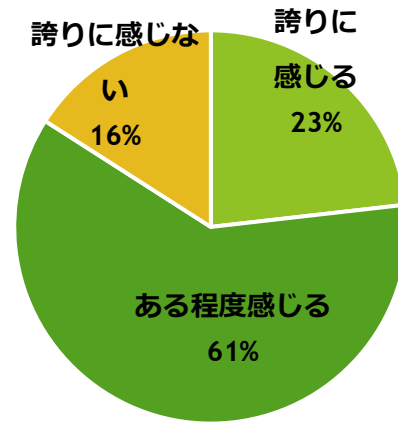
- 整理**
  - 必要なものと不要な物を分け、不要な物を捨てること
- 整頓**
  - 必要な物がすぐ取り出せるように、置き場所、置き場を決め、表示を確実にすること
- 清掃**
  - 掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にすると同時に、細部まで点検すること。
- 清潔**
  - 整理、整頓、清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持すること。身だしなみのさっぱりした職員。
- 作法**
  - 正しい行動ができること
- 躰（しつけ）**
  - 決められたことを決められたとおりに実行できるよう習慣づけること

## 2. アンケート調査内容 (業務改善委員会より)

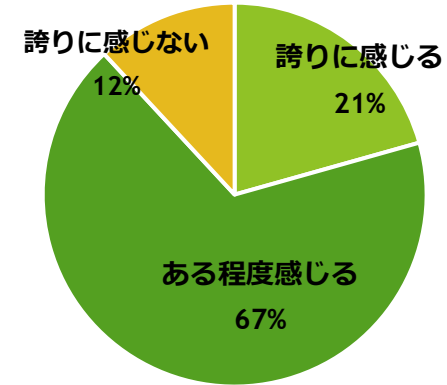
Q1あなたは当法人の職員であることを、どの程度誇りに感じますか？



H29年度

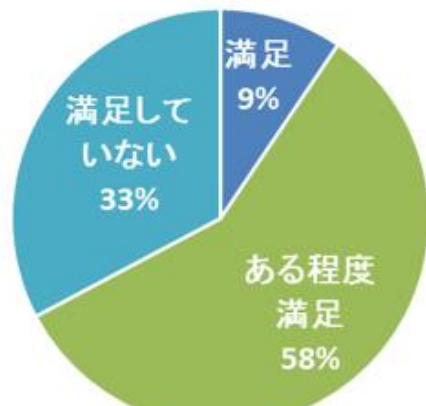


4年度

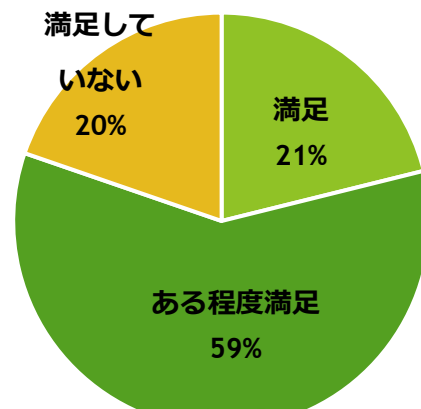


5年度

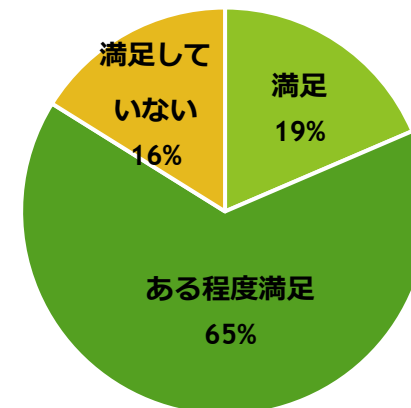
Q2 総合的に見て、現在の仕事内容にどのくらい満足していますか？



H29年度

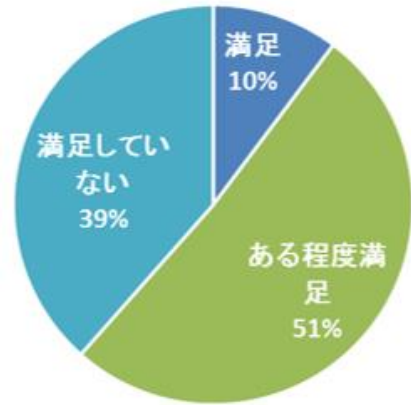


4年度

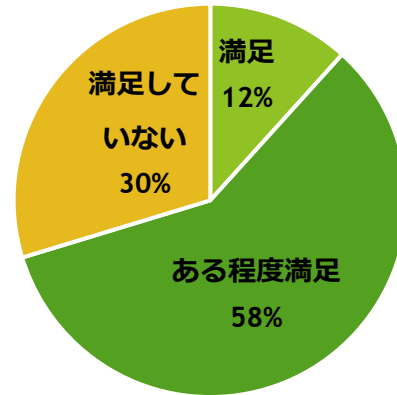


5年度

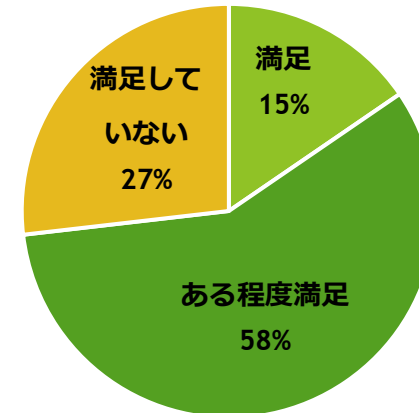
### Q3総合的に見て、あなたが現在受け取っている給料にどのくらい満足していますか？



**H29年度**

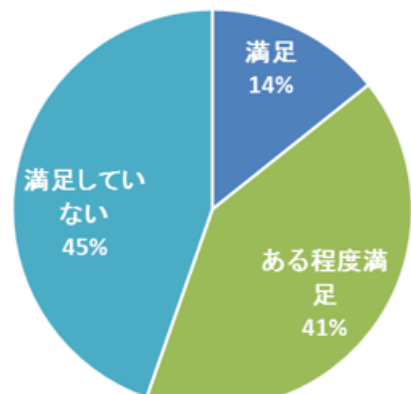


**4年度**

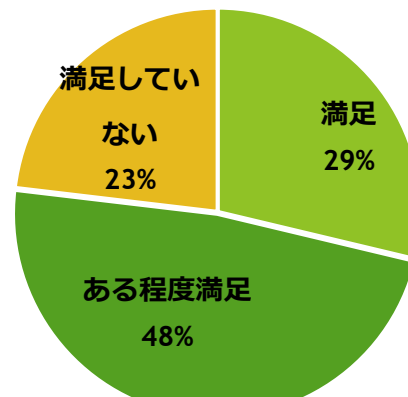


**5年度**

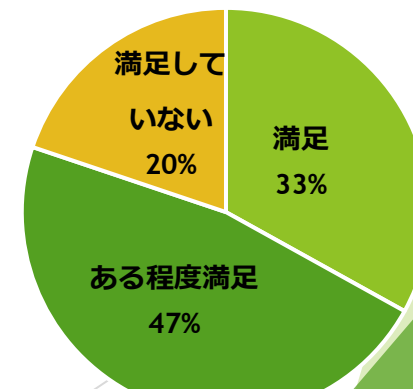
### Q4 年次有給休暇の現在の取得状況にどのくらい満足していますか？



**H29年度**



**4年度**



**5年度**



## 3 .ICTの活用

- (1) 業務の見直し、生産性の向上
- (2) 職員のニーズの把握と改善
- (3) 介護ロボットの積極的導入  
(見守りセンサー、眠りスキャン等)

## 4.取り組んだこと

### (1) 生産性の向上

特別養護老人ホームロング・ライフ

2019年 介護施設等における生産性向上に資する  
パイロット事業（モデル事業）

タブレットを導入し記録作業の効率化を図る



グループホーム フクチャンち

2020年 タブレットを導入し記録作業の効率化  
→週休3日制の開始

その後全事業所にタブレット導入

# グループホーム フクチャンち



## タブレットの導入という挑戦で 職員の負担を軽減し明るい職場へ



タブレットの導入で利用者さんとゆっくり関われるようになった。

## 全事業所へICT・業務効率化展開

(効果を見ながら全事業所へ導入)

- (1) タブレット導入 (全事業所 居宅・デイ・GH・特養・包括)
- (2) リモートワークシステム導入 現在も実施
- (3) 訪問系サービスに「スマケアシステム」導入
- (4) 特養に「眠りスキャン」導入
- (5) グループホームの週休3日制導入

## 5.取り組みにより得られた成果

- (1) 業務の効率化により有効時間の捻出
- (2) 捻出時間の活用
  - ①各人のモチベーションアップへ
  - ②ケアの質の向上
  - ③有給休暇の取得率アップ

## 6. 具体的成果

- (1) 全職員を対象に基本給の一律10,000円アップを実現  
(=平均ベースアップ率5.38%)
- (2) 職員の休日取得日数は120日を確保 (※全国平均109.2日)
- (3) 有給休暇取得日数は1人当たり2.6日増加  
(平成29年度 6.1日→令和4年度 8.7日)
- (4) 週休3日制への取り組み

## 7. 取り組む上で大切にしている事

(1) 介護職員の働きやすい職場作りを念頭に置き、  
解決するための話し合い。



働き甲斐のある職場、法人間の連携。

(2) 年2回の賞与支給時には全職員との面談を実施  
具体的、個人的事情も把握



各事業所の運営に生かす

## 8. 取組を通じた職員の姿勢の変化

- (1) アンケートにも表れていますが、働きやすい職場環境が実現されることで職員に余裕が生まれ、より広い視野を持つことができるようになった。
- (2) 小さな成功体験を積み重ねながら実施することで、モチベーションを保ちながら業務を進めることができる、と職員自身が気づくことができた。



## 9.取り組みを継続するためのポイント



# 3つの支持

# 10. 取組を地域に普及するための 取り組み

- (1) 無料の初任者研修を福島市内で10年以上実施。  
認知症の啓発活動を地域向けに展開
- (2) 「あなたの力を地域のために」  
10年以上市内2カ所で介護保険の基本的理解、認知症の理解  
という内容で継続して実施→シニア世代の活用
- (3) SOSネットワーク 地域づくりと認知症への理解と支援
- (4) サロンの実施 オレンジカフェや料理教室など
- (5) 地域で健康教室 ロングな介護、いきいきももりん体操の展開

# 1 1.地域との連携

## 第10回 松川地域 認知症SOSネットワーク模擬訓練 年間計画

令和6年											令和5年				
<2月> 2/19(月)	<1月>	<12月>	<11月> 11/20(月)	<10月>	9/3(日)	9/2(土)	<8月> 8/21(月)	<7月>	<6月> 6/19(月)	<4月> 4/17(月)	<3月>	<2月> 2/20(月)	<1月>	開催月 第3月or火 19時～20時 (場 所)	
松川支所 2階 大会議室			松川支所 2階 大会議室		メイン会場 リブレ松川	リブレ松川	松川支所 2階 大会議室		松川支所 2階 大会議室		松川支所 2階 大会議室	松川支所 2階 大会議室			
* 第45回運営委員会（次年度開催に向けて）	新地区の選定と依頼		各役割班・各訓練地区からの反省 次年度の認知症SOSネットワーク模擬訓練地区の検討  * 第44回運営委員会＋実行委員代表者会	各役割班・各訓練地区ごとに反省会を開催	第10回松川地域認知症SOSネットワーク 模擬訓練開催	各役割班・各訓練地区ごとの最終打ち合わせ	* 実行委員代表者会  各役割班・各訓練地区ごとの打ち合わせ及び進捗状況 報告のほり設置依頼（広報班）		* 実行委員会①  各訓練地区実行委員打ち合わせ 各役割班・各訓練地区ごとの打ち合わせ	各役割班・各訓練地区ごとの打ち合わせ  各訓練地区の実行委員メンバーを決める	各役割班に協力を依頼・配置	* 第42回運営委員会＋実行委員代表者会  運営委員・各役割班・各訓練地区代表との顔合わせ 年間計画の確認と訓練に向けての進め方の確認		* 第41回運営委員会（次年度開催に向けて）	第10回松川地域認知症SOSネットワーク 模擬訓練 年間計画

地域みんなが集う場所



# 『ロング』な介護

## 《ご案内》

皆さんが集まって、「介護の困りごと」や「お悩み相談」、「簡単な健康体操」みなさんの「知りたいこと」などについての「ミニ講座」などを開催しています。

家族介護をされている方はもちろん、健康・地域・介護に興味や関心をお持ちの方など、介護の専門職が皆さまのご参加をお待ちしております。（また、ご依頼に応じて出張・出前での開催も行っています。）

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて開催を見送る場合もございます。

☆ 場所：松川学習センター 大会議室にて

☆ 日時：毎月 第4土曜日の10:00から 1時間程度

令和4年：4/23・5/28・6/25・7/23・8/27・9/24  
10/29・11/26・12/17  
令和5年：1/28・2/25・3/25

(※ 予約や申し込みの必要はありません、**無料**で参加して頂けます。)

(※10月は第5土曜日、12月は第3土曜日の開催になります。)

### 【お問い合わせ】

福島市松川地域包括支援センター  
社会福祉法人ライフ・タイム・福島  
指定居宅介護支援事業所  
(特別養護老人ホーム ロング・ライフ 内)

☎ 567-5800

担当：宮崎百恵・藤倉優子



# 料理教室

「高齢者向け すぐできるおかず」として毎月旬の食材を使った献立を管理栄養士が考え、栄養バランスや作り方をわかりやすく説明しながら行います。

また、理学療法士やケアマネージャーと一緒に料理しますので、お体のことや介護のことなどの相談にも応じます。

是非、お気軽にご参加ください。

## 毎月第2水曜日

10:30～13:00

場所：ライフ吉井田 2階

10:00～ちょこっと体操も行います

持ち物：エプロン

※食材及び食器類はこちらで準備します。

材料費：一人200円

### <料理教室スケジュール>

7月 8日(水) 梅雨から夏～元気UPメニュー～

8月 19日(水) 第3水曜です!! 暑い夏!簡単どんぶり

9月 9日(水) 仕込んだみそを使って

※第2水曜日でない月がありますご注意ください

お問合せ：TEL 563-6146 (ライフ吉井田居宅)

FAX 545-2267

担当：島貫・藤倉



～誰でもが安心して暮らせる街へ～

# オレンジカフェ 吉井田



新しい生活様式を取り入れながら再開しました。  
簡単な体操、介護相談、栄養相談などを行いたいと思います。

皆さんで楽しい時間を一緒に過ごしませんか!

## 毎月第3水曜日に開催します!

令和4年 4月20日(水)

令和4年 5月18日(水)

令和4年 6月15日(水)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、手指消毒・マスク着用の協力を  
お願いいたします。

開催時間：10:00～11:00 多数の参加をお待ちしております

開催場所：地域包括ケア施設 ライフ吉井田内 みんなのサロン

参加費：無料

お問合せ：福島市吉倉字谷地73-1 ライフ吉井田  
TEL 563-6146 FAX 545-2267



## 認知症SOS ネットワーク模擬訓練



## 料理教室



## ロングな介護



## オレンジカフェ



## 1 2.むすび

- (1) 3つの支持を前提 地域の拠点となること
- (2) ニーズにこたえる多様なサービスの提供
- (3) 点→線→面への展開 地域の人とかかわりをもつ
- (4) 次世代人材育成 階層別研修の実施

①新人～2年位

②2年～5年

③リーダー、管理者

イ.事業所の役割、組織のありよう

ロ.人材育成

ハ.今後の介護業界の動向を見る目